

令和6年度 大阪市 男女共同参画に関する市民意識調査

この調査は統計目的以外には使用しません。あなたのご意見が外部にもれることは、いっさいありませんので、率直なご意見をお聞かせください。9月20日(金)までにポストに投函していただきますようお願いいたします。なお、オンラインでご回答いただく場合は、別紙の「オンライン回答のご案内」を、ご覧ください。

【調査実施機関】

大阪市立男女共同参画センター中央館
(クレオ大阪中央)
大阪市天王寺区上汐5-6-25
電話：06-6770-7200 FAX06-6770-7705

《オンライン回答用ユーザID》

【ユーザID】 《ユーザID》

【パスワード】 ●●●●

※このユーザID・パスワードは、オンライン回答のログイン時に使用するものであり、個人を特定するためのものではありません。

男性・女性に対する意識についてお伺いします。

問1. 「男性は仕事、女性は家庭を中心にする」という考え方について、あなたはどのように思われますか。
あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 賛成 2. どちらかといえば賛成 3. どちらかといえば反対 4. 反対 5. わからない

問2. 問1で「1. 賛成、2. どちらかといえば賛成」を選んだ方にお伺いします。
それはなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから
2. 自分の親もそのようにしていたから
3. 男性が働いた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 女性が家庭を中心にした方が、子どもの成長などにとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、男女ともに働き続けるのは大変だと思うから
6. その他(具体的に:)

問3. 問1で「3. どちらかといえば反対、4. 反対」を選んだ方にお伺いします。
それはなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 男女平等に反すると思うから
2. 自分の親もそのようにしていたから
3. 男性も女性も働いた方が、多くの収入が得られると思うから
4. 男性も女性も同じくらい家庭を大事にすべきだと思うから
5. 女性も働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから
6. 家事・育児・介護とを両立しながら、男女ともに働き続けることは可能だと思うから
7. 固定的な男女の役割分担の意識を押し付けるべきではないから
8. その他(具体的に:)

問4. あなたは、次にあげる場で男女平等が進んでいると思われますか。 あてはまるものに○をつけてください。 (各項目について○は1つずつ)	優遇されている 男性の方が	優遇されている 男性の方が どちらかといえば	平等である	優遇されている 女性の方が どちらかといえば	優遇されている 女性の方が	わからない
1. 家庭生活で	1	2	3	4	5	6
2. 職場で	1	2	3	4	5	6
3. 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
4. 地域活動・社会活動(※)の場で	1	2	3	4	5	6
5. 政治の場で	1	2	3	4	5	6
6. 法律や制度のうえで	1	2	3	4	5	6
7. 社会全体として	1	2	3	4	5	6

※地域活動・社会活動…地域の住民間のつながりや相互の協力関係などの中で住民が主体的に行う活動や、NPO やボランティアなど社会のために貢献をする組織・個人による活動のこと

ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)についてお伺いします。

問5. あなたは、男性と女性のそれぞれについて、「仕事」、「家庭生活(家事・育児・介護)」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味・友人関係等)」の関係が、どのようにあるのが望ましいと思いますか。

(ア)男性 あてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 「家庭生活」、「地域・個人の生活」よりも、「仕事」に専念する
2. 「家庭生活」、「地域・個人の生活」にも関わるが、「仕事」を優先させる
3. 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」を同じように両立させる
4. 「仕事」にも関わるが、「家庭生活」、「地域・個人の生活」を優先させる
5. 「仕事」よりも、「家庭生活」、「地域・個人の生活」に専念する
6. 何を優先すべきかは、男女の性別には関係ない
7. その他(具体的に:)

(イ)女性 あてはまるものを1つ選び、その番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 「家庭生活」、「地域・個人の生活」よりも、「仕事」に専念する
2. 「家庭生活」、「地域・個人の生活」にも関わるが、「仕事」を優先させる
3. 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」を同じように両立させる
4. 「仕事」にも関わるが、「家庭生活」、「地域・個人の生活」を優先させる
5. 「仕事」よりも、「家庭生活」、「地域・個人の生活」に専念する
6. 何を優先すべきかは、男女の性別には関係ない
7. その他(具体的に:)

問6. 生活の中での「仕事」、「家庭生活(家事・育児・介護)」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味・友人関係等)」の優先度についてお伺いします。

あなたの現状に最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」、「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」、「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」、「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」をともに優先している

問7. 地域活動・社会活動(町会、PTA、ボランティア、NPOなどでの活動)についてお伺いします。あなたは、地域活動・社会活動に参加したことがありますか。

あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 現在参加している
2. 参加したことがある
3. 参加していない(今後参加したい、または、今後参加してもよい)
4. 参加していない(今後も参加したくない)

▶ 2. 参加したことがある、 3. 参加していない(今後参加したい、または、今後参加してもよい)、
4. 参加していない(今後も参加したくない)を選んだ方 → 問8へ

問8. 問7で「2. 参加したことがある」、「3. 参加していない(今後参加したい、または、今後参加してもよい)」、「4. 参加していない(今後も参加したくない)」を選んだ方にお伺いします。

現在参加していない理由について、あてはまるものに○をつけてください。(○は3つまで)

1. 時間がないから
2. 興味がないから
3. 人間関係がわずらわしいから／苦手であるから
4. 一緒に参加する人がいないから
5. 活動内容がわからないから
6. 参加するきっかけがないから
7. 仕事が忙しく両立が難しいから
8. 参加できる時間と活動時間があわないから
9. その他(具体的に: _____)

問9. 大阪市では、災害時における女性や子育て家庭のニーズに配慮した避難所運営など男女共同参画の視点からの防災・復興の取組を推進しています。あなたは、地域防災活動において女性の参画(活動の企画段階から参加すること)が必要だと思いますか。

あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 必要だと思う
2. どちらかといえば必要だと思う
3. どちらかといえば必要だと思わない
4. 必要だと思わない
5. わからない

問 10. あなたは、平日において、1日のうちに家事・育児・介護などに、どの程度の時間を費やしていますか。
(各項目について○は1つずつ)

平日	0分	1～30分	31～60分	1～2時間	2～3時間	3～4時間	4～5時間	5～6時間	6～7時間	7～8時間	8時間以上	該当者がいない
1. 家事	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
2. 育児	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
3. 介護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
4. 仕事	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
5. 地域活動等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	

→ 1. 家事 2. 育児 3. 介護にて「0分、1～30分、31～60分」を選んだ方 → 問 11 へ

問 11. 問 10 の 1. 家事 2. 育児 3. 介護 にて「0分、1～30分、31～60分」を選んだ方にお伺いします。
家事、育児、介護に費やす時間が少ない理由は何ですか。
家事、育児、介護について、あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

	(1)家事	(2)育児	(3)介護
1. 家族(配偶者など)がすべてしてくれて、する必要がないから			
2. (家事・育児・介護が)好きではないから、得意ではないから			
3. 帰宅時間が遅くて時間がないから			
4. 外部(公的・民間など)のサービスを利用しているから			
5. (家事・育児・介護を)どのようにしたらよいかわからないから			
6. (家事・育児・介護は)女性がするものだと思うから			
7. 子どもが成長して、手がかからなくなったから			
8. 単身世帯だから			
9. その他(具体的に)			

問 12. あなたは、あなたの家族(配偶者など)との(1)家事、(2)育児、(3)介護の分担について、どのように感じていますか。
あてはまるものに○をつけてください。(各項目について○は1つずつ)

	(1)家事	(2)育児	(3)介護
1. 満足			
2. ある程度満足			
3. やや不満			
4. 不満			
5. 単身世帯または育児・介護の該当者がいない			

問 13. 男女がともに「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」を図るためには、どのような取組みが必要であると思いますか。

企業・職場が特に取り組む必要があるとあなたが思うものに○をつけてください。(○は3つまで)

1. 管理職の意識改革を行う
2. 在宅勤務(テレワーク)、フレックスタイム、短時間勤務など、柔軟な勤務ができるようにする
3. 業務の効率化に取り組む
4. ノー残業デーや有給休暇の取得計画をつくるなど、年間労働時間を短縮する
5. 給料を上げる
6. 性別に関わりなく評価をし、その評価に応じて責任のある仕事を任せる
7. 従業員を増やす
8. 育児休業・介護休業をとりやすくする
9. 治療(病気、不妊等)のための休暇をとりやすくする
10. その他(具体的に: _____)

女性の活躍推進についてお伺いします。

問 14. あなたは、「女性の活躍が推進されている」とはどのような状態だと思えますか。

特にあてはまると思うものに○をつけてください。(○は3つまで)

1. 女性の勤続年数が長くなること
2. 出産しても、子育て期間中でも仕事を続ける女性が増えること
3. 退職した後、再就職しても、また正社員になる可能性が開かれていること
4. 働く女性の割合が増えること
5. 女性が従事する職種・職域が増えること
6. 仕事に対するモチベーションが高い女性が増えること
7. 管理職や地域の会長などの役職につく女性が増えること
8. リーダーや会長選定を検討する際に、男女の性別を意識しなくなる
9. 仕事や家庭、地域活動などに男女の固定的な役割分担がないこと
10. 地域などの意思決定の場に参画する女性が増えること
11. その他(具体的に: _____)

問 15. ご自身の経験に照らして、次のことがらについて、あなたの考えに近いと思われるものに○をつけてください。(各項目について○は1つずつ)

	そう 思う	どちらか といえば そう思う	どちらか といえば そう思わ ない	そう思 わない	わか らな い
1. 地域活動・社会活動(町会、PTA、ボランティア、NPO などの活動)において活躍している女性が増えた	1	2	3	4	5
2. 地域活動・社会活動(町会、PTA、ボランティア、NPO などの活動)においてリーダー的な役割を担う女性が増えた	1	2	3	4	5
3. 就業の場で活躍している女性が増えた	1	2	3	4	5
4. 就業の場でリーダー的な役割(管理職等)を担う女性が増えた	1	2	3	4	5

問 16. あなたは、地域活動・社会活動(町会、PTA、ボランティア、NPO などの活動)において女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いませんか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと 2. 女性自身がリーダーになることを希望しないこと 3. 男性が女性リーダーを希望しないこと 4. 役職につくのは男性、などの地域のしきたりや慣習が残っていること 5. 女性の育児・介護・家事などの負担が大きいこと 6. その他(具体的に: _____) |
|---|

問 17. 女性が就業継続・再就職したいと考えていても、実現できない理由は何だと思いませんか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所への入所や延長保育や一時預かり、休日保育など、保育サービスが利用できないため 2. 仕事内容、勤務場所、勤務時間等について、条件にあう働き口が見つからないため 3. 家事負担が大きいため 4. 育児負担が大きいため 5. 介護負担が大きいため 6. 介護について、施設やサービスを利用できないため 7. 仕事と家庭の両立をうまくやっていく自信がないため 8. 仕事に必要な知識や能力が備わっているか不安を感じるため 9. 職場での人間関係をうまくやっていけるか不安を感じるため 10. その他(具体的に: _____) |
|--|

配偶者・パートナー間の暴力についてお伺いします。

問 18. 次にあげる項目のうちあなたはどれを、ご存知ですか。
(各項目について○は1つずつ)

	内容を 知っている	聞いたこと がある	知らない
1. ドメスティック・バイオレンス(DV)	1	2	3
2. デートDV	1	2	3

問 19. 次のようなことが配偶者・パートナーの間で行われた場合、それが「暴力である」と思いませんか。それぞれについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。
(各項目について○は1つずつ)

	どんな場合でも 暴力にあたる と思う	暴力にあたる 場合も、そうで ない場合もある と思う	暴力にあたる とは思 わない
1. ながる・ける	1	2	3
2. 何を言っても無視し続ける	1	2	3
3. 暴言を吐いたり、ばかにしたり、見下したりする	1	2	3
4. 自由にお金を使わせない、生活費を渡さない	1	2	3
5. 友達や身内とのメールのやりとりや、SNSなどをチェックする。行動やつきあいを制限する	1	2	3
6. 嫌がっているのに性的な行為を強要する	1	2	3
7. 自分もしくは自分の家族に危害を加えるといっておどす	1	2	3

問 20. 配偶者・パートナーの間で行われる暴力について、次の相談機関・対応窓口
 がありますが、あなたはご存じですか。
 あてはまるものに○をつけてください。(各項目について○は1つずつ)

	知っている	知らない
1. 大阪市配偶者暴力相談支援センター	1	2
2. クレオ大阪女性総合相談センター	1	2
3. 各区保健福祉センター	1	2
4. 大阪府女性相談センター	1	2
5. 警察署、交番	1	2
6. シェルターなどの民間の相談機関	1	2

男女共同参画に関連した制度や施策などについてお伺いします。

問 21. 大阪市では男女共同参画社会の実現をめざして施策に取り組んでいま
 すが、次にあげる項目のうちで、あなたをご存じのものはありますか。
 あてはまるものに○をつけてください。(各項目について○は1つずつ)

	内容を 知っている	ある 聞いたこと	知らない
1. 大阪市男女共同参画推進条例	1	2	3
2. 大阪市男女きらめき計画(大阪市男女共同参画基本計画)	1	2	3
3. 大阪市男女共同参画施策苦情処理制度	1	2	3
4. クレオ大阪(大阪市立男女共同参画センター)	1	2	3
5. クレオ大阪で実施している「女性の悩み相談」(クレオ大阪女性総合相談センター)	1	2	3
6. クレオ大阪で実施している「男性の悩み相談」	1	2	3
7. クレオ大阪で実施している「子育て相談」	1	2	3
8. 大阪市女性活躍リーディングカンパニー認証制度	1	2	3
9. 大阪市女性チャレンジ応援拠点	1	2	3
10. 「きらめく女性の応援ひろば～未来へレディ Go!～」(女性の活躍応援Webサイト)	1	2	3

問 22. すべての人の人権が尊重され、男女がともにその個性と能力を発揮できる社会の実現をめざす男女共
 同参画社会を実現していくために、行政にご意見・ご提案がありましたらご自由に記入してください。

あなた自身やご家族についてお伺いします。

F1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|-------|-------|---------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他・答えたくない |
|-------|-------|---------------|

F2 あなたの年代をお答えください。(○は1つ)

- | | | | | |
|-------------|-------------|------------|------------|-------------|
| 1. 18歳～19歳 | 2. 20歳～24歳 | 3. 25歳～29歳 | 4. 30歳～34歳 | 5. 35歳～39歳 |
| 6. 40歳～44歳 | 7. 45歳～49歳 | 8. 50歳～54歳 | 9. 55歳～59歳 | 10. 60歳～64歳 |
| 11. 65歳～69歳 | 12. 70歳～74歳 | 13. 75歳以上 | | |

F3 あなたの職業についてお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|----------------------------|------------------|------------|
| 1. 自営業主・自由業 | 2. 家族従業者 | 3. 正社員・正職員 |
| 4. 派遣社員 | 5. 契約社員 | 6. 嘱託社員 |
| 7. パートタイム・アルバイト(学生バイトを除く) | 8. 家事専業(専業主婦・主夫) | |
| 9. 無職(家事専業の方は除く、年金のみの方を含む) | 10. 学生 | |
| 11. その他(具体的に: _____) | | |

F4 あなたが同居している方すべてをあなたご自身との関係(続柄)でお答えください。(○はいくつでも)

- | | | |
|-----------------|--------------------|-------------|
| 1. 単身世帯(ひとり暮らし) | 2. 配偶者(パートナー) | 3. 子 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 父・母(義父母) | 6. 孫 |
| 7. 祖父母(義祖父母) | 8. 兄弟・姉妹(義理の兄弟・姉妹) | 9. 他の親族・その他 |

F5 F4で「3. 子」を選んだ方にお伺いします。

あなたが同居している子どもについて最も年齢が低い人をお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------------|------------------|---------------|
| 1. 未就学児 | 2. 小学校低学年 | 3. 小学校高学年～中学生 |
| 4. 学生(高校、専門学校、短大、大学等) | 5. 社会人(アルバイト等含む) | |

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。